

【学校教育目標】

「自他を大切にし、未来を生き抜く生徒の育成」

【目指す学校の姿】

- 生徒にとって…誰もが安心して精一杯学び合える学校
- 保護者にとって…信頼して子供を任せられる学校
- 教職員にとって…生徒達を誇りにできる学校



＜目指す生徒像＞

- (1) 思いやりと感謝の気持ちを大切にする生徒
- (2) 自ら課題を見つけ、主体的に学習に取り組む生徒
- (3) 自主・自律の精神を重んじ、何事にも全力で取り組む生徒
- (4) 挑戦する心を忘れず、最後までやり抜く生徒



まじめに、楽しく、心合わせて
 ～知・徳・体の調和のとれた、心身共に逞しい生徒～

確かな学力の育成《知》

- 基礎・基本の確実な定着
- 主体的・対話的で深い学びの実践
- 学習規律の徹底
- 4つの学習プロセスによる指導過程

豊かな心の育成《徳》

- 集団活動による豊かな人間関係づくり
- 感性を磨く、多様な体験活動の工夫
- 健康と命を大切にする教育の推進
- 「考え、議論する道徳」の授業実践

健やかな体の育成《体》

- 全教育活動をととした健康・安全教育の推進
- 未来に生きる体力の向上
- 食に関する指導の充実
- 部活動への積極的な参加



☆全教職員の協働による教育実践＝「チーム南流」

・チームワーク ・フットワーク ・ネットワーク

- 生徒理解を基盤とした学年・学級経営の推進
- 教育的ニーズに対応した特別支援教育の推進
- 授業力の向上（「主体的・対話的で深い学び」の推進）

☆地域との協働による教育実践＝「オール南流」

- 主体的に地域活動に参加する学校づくりの推進
- 地域学校協働本部事業を柱とする社会に開かれた教育課程の編成とカリキュラムマネジメントの推進
- 小学校（南流山小、鱈ヶ崎小）と連携した教育活動の充実

